

【課題等整理表（案）】

資料 1

	課題等	状況	公立の課題	私立の課題	地域の課題	課題解決に向けたこれまでの本市の取組みや先進地の事例	課題解決のための整理（案）
①	正規職員が少ない（公立）	保育従事者における正規職員の割合 ・清水口、南山 3割弱 ・桜台 約5割 （市内私立園常勤の割合 平均約7割）	○			既存公立園の再編	本委員会の <b>体制の検討</b> に関わる事項
②	職員の勤務管理が複雑（公立）	保育士の雇用形態が複数あり、それぞれに業務内容や責任の範囲が異なるため、業務管理が複雑で管理業務に係る負担が大きい。	○				
③	事務作業の負担	書類作成等の保育以外の業務にかかる負担が大きい。	○	○		・保育現場のICT化の推進 ・事務員、保育補助員の配置に対する財政的支援	魅力ある働き方推進に関わる事項
④	加配児の公立保育所への偏り	・加配児の受入れが公立園に偏っている。 ・私立園では、制度上加配児の受入れに限界がある。	○		○	・私立園の加配児受入れ促進のため、保育士加配に対する財政的支援 ・私立園と児童発達支援事業所の併設	本委員会の <b>役割及び体制の検討</b> に関わる事項
⑤	保育士の不足	・全国的な課題であるが、特に公立園においては会計年度任用職員等が不足している。 ・令和6年度より1歳児クラスの保育士を5：1で配置した場合の加算が創設される予定だが、公立園では待機児童対策を優先させるため、5：1での配置が困難。	○	○		・私立園に対する保育士の処遇改善に係る財政的支援 ・賃金改善による保育士確保には限界があるため、本市では私立園との協働で魅力ある働き方の推進に取り組んでいる。	魅力ある働き方推進に関わる事項 （公立園の保育士配置については体制の検討に関わる事項）

	課題等	状況	公立の課題	私立の課題	地域の課題	課題解決に向けたこれまでの本市の取組みや先進地の事例	課題解決のための整理（案）
⑥	保育士の育成機会の確保とキャリアデザイン	今後、公立園が新たな役割を担うためには、さらなる保育士のキャリアアップの仕組みが必要となる。	○			役割に応じた計画的な研修等の実施	本委員会の <b>役割及び体制の検討</b> に関する事項
⑦	保育以外の求められる役割	保護者支援、虐待の防止等のほか、地域の子育て支援の拠点としての役割も求められる。	○		○	公立園を地域の基幹園として位置づけ、保育以外の子育て支援機能や、私立園と市の他部局との連携の中核を担う。	本委員会の <b>役割及び体制の検討</b> に関する事項
⑧	出生数の減少に伴う保育需要の変化への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私立園が安定した運営を行うためには常時一定以上の児童を受け入れる必要がある。</li> <li>・児童数は減少するものの、申込率は上昇していくことが見込まれるため、利用児童数の減少は緩やかなものになることが想定される。</li> </ul>	○	○	○	公立園が調整機能を担う。（定員数の調整等）	本委員会の <b>役割及び体制の検討</b> に関する事項
⑨	多様な保育ニーズへの対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児の受入れ</li> <li>・土曜日の開所時間が平日と比べて短い。 （公立） 平日7：00～19：00 土曜7：00～17：00</li> <li>・日曜日は開所していない。</li> <li>・夜間保育の未実施。</li> <li>・保育所等未利用の特別な支援を必要とする児童が、小学校就学前に集団生活を体験する機会がない。</li> </ul>			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切なニーズ把握に基づいた、保育所の開所日及び開所時間の検討</li> </ul>	本委員会の <b>役割及び体制の検討</b> に関する事項